



株式会社矢野

環境負荷削減商品の提案、 そして働く方々の 職場環境の見直し



みどり市

住所 みどり市笠懸町久宮115
TEL 0277-77-7311
Mail y-contact@kkyano.co.jp
URL https://www.kkyano.co.jp/
代表者 春川 昭二
設立 1951年12月26日
資本金 9,000万円
従業員 38人

WEBサイト



企業紹介

創業1717年(享保2年)より306年目を迎えた、北関東を地盤とする商社です。化学品を中心に、化学薬品・染料・プラスチック原料・成形機・包装資材や関連する機器・設備までと幅が広く、近年は大幅な気温の変化に対応するため、建物の屋根・室外機等に設置する遮熱(防寒)対策製品に多くのご用命をいただいております。また、生ごみ処分に伴うCO2削減効果のある製品の販売を行っており、環境にやさしい製品の販売に注力しております。2007年よりISO14001認証を継続し、2023年には事業継続力強化計画の認定を受けております。

経緯・背景

当社の経営理念にもある「社会の発展に貢献する」という使命のもと、北関東を中心として、各種産業で使用される原料・資材などの流通に携わってまいりました。近年、異常気象、気候変動への対応や、環境負荷の低減・働く方々の労働環境改善、そして未来へ豊かな自然・生物多様性を受け継いでいくため、今できる低環境負荷・低廃棄・再生材のご提案や省エネ、建物の遮熱(防寒)対策製品・食品残さ削減製品等を展開しています。

遮熱・省エネ・ 節電対策製品の販売 全自動生ごみ消化機

具体的な取組・成果

●全自動生ごみ消化機

日本国内の生ごみは一般廃棄物の中で約20%程度を占めると言われております。その量約1,961万t/年(令和2年度)。また、様々なごみの中でも、生ごみは水分を含んでいることが多く、焼却がしづらいことからCO2を多く排出してしまいます。ごみの最終処分場はおよそ20年で寿命を迎えと言われており、社会問題とされています。



全自動生ごみ消化機の外観

当社の製品、「全自動生ごみ消化機」は、生ごみをバイオ(微生物)の力で分解し、分解液として一般排水処理をすることができます。生ごみをごみ処理場まで「運ばず・燃やさず」処分することができます。

「全自動生ごみ消化機」は、食品製造工場やスーパーマーケットのバックヤード等に導入され、様々な食品残さを分解し、生ごみの削減に貢献しています。また、今後、病院や老人ホーム等食品残さが発生する様々なシーンで活躍が可能であり、環境問題に取り組む企業様の一助となると考えております。



全自動生ごみ消化機内部の様子

当社が取り組んでいる「全自動生ごみ消化機」は、食品製造工場やスーパーマーケットのバックヤード等に導入され、様々な食品残さを分解し、生ごみの削減に貢献しています。また、今後、病院や老人ホーム等食品残さが発生する様々なシーンで活躍が可能であり、環境問題に取り組む企業様の一助となると考えております。

●遮熱・省エネ・節電対策製品の販売

持続可能な社会

を実現するためSDGsの目標の一つ「エネルギー対策」は、今後の製造業にとって重要な課題です。当社では工場の省エネ、CO2削減を実現する遮熱対策製品を取り扱っております。

●冷えルーフ：金属折板屋根用遮熱・断熱システム

金属折板屋根にシートを取り付け、日陰の効果で遮熱・断熱します。夏は暑さ対策・熱中症対策、冬は保温、結露緩和など一年を通し効果を発揮します。

電気代削減効果のほか、雨音削減・音鳴り削減等様々なメリットを發揮します。

●室外機の省エネ・節電対策

室外機へ対策を行うことで、エアコン効率が上がり、節電やCO2削減効果が期待できます。結果、5～20%の省エネにつながります。

電気代の削減・従業員の職場環境を改善したいといったニーズをお持ちの企業様に多くの施工実績がございます。

そのほか、様々な環境対策製品をご用意、また、ドローン空撮による点検作業も行っております。



室外機省エネ節電対策の様子

当社にとってのSDGsビジョン

廃棄物や環境負荷を減らす商品の開発や企業様への環境負荷削減商品の提案、職場環境の見直し、安定した供給体制など、私たちにできることから一つずつ取り組みます。私たちはSDGsの理念の元、持続可能な社会の発展に貢献すべく、邁進します。

今後の展望と求めるパートナー像

環境対策製品や「全自動生ごみ消化機」をより多くの企業様に導入いただき、遮熱効果・電気代削減・CO2削減、また、生ごみ廃棄に関わる環境負荷・廃棄コスト削減をご享受いただきたいと思います。持続可能な社会の実現に向け、ともに歩んでいけるパートナーを探しております。